

第50号

発行・編集
久工大だより編集委員会久留米市上津町2228-66
TEL(0942)22-2345(代表)
FAX(0942)21-8770
http://www.kurume-it.ac.jp

● 主要記事 ●

- 1面…新年の挨拶
2面…授業ルポ・専攻紹介
3面…トピックス・学生生活
4面…オープンキャンパス・入試日程・保護者懇談会
公開講座・共同講義・分煙・医務室
5面…就職指導・奨学金・就職活動奮戦記
インターンシップ・学年暦
6面…愁華祭関係

久工大だより

学長の就任挨拶



学長 深野 徹

— 建学の精神 —

皆さん、明けましておめでとつございます。私は12月4日に、根本学長の後を継いで、本学の学長を務めるようにという辞令を、喜多村理事長からいただきました。その際、学長は全教職員と一体となつて「教育の充実」と「信頼の確保」に努め、さらに「学生の満足度」を高めるように、というお言葉をいただきました。私は、このお言葉をしっかりと胸に抱いて、久留米工業大学を運営していきたいと決心しています。この言葉は一見普通の言葉のように聞こえます。しかし久留米工業大学にとっては極めて重たいことです。皆さんの総力を挙げての協力なしには、達成し得ないことです。なにとぞよろ

本校法人の建学の精神は、「人間味豊かな産業人の育成」です。「豊かな人間性を備えた」、「産業人の育成」の二つの言葉が、学校法人が目指すべき教育のキーワードであり原点であります。それに加えて「大学の教育理念」として、「知・情・意の調和のとれた全人教育」を目標にしています。これは「知を磨き、情を育み、意を鍛える」ことが「豊かな人間性」を育てるための具体的方法であることと教育が目指すべきところを示していると考えたいと思います。「知を磨き、情を育み、意を鍛えて、人間性豊かな産業人を育成すること、これが大学が目指すべき教育の指針なのです。今こそ、そんな建学の精神と大学の教育理念を再認識して、しっかりとした人材育成に励むことが一番大事になってきています。教職員の一人ひとりが、自らの学生との係わりの中で、「人間味豊かな産業人の育成」という建学の精神と向き合い、その実現にどのよう具体的にに取り組んでいるのか、しっかりと見つめ直すことが必要であると考えます。「他人（ひと）の振

り見て我が振り直せ」という言葉があります。人は、自分のことにはなかなか気がつかないが、他人のことにはよく気がつく。他人の振り（言動、形振り）を参考にして自分の振りを正しなさい、というほどの意味であります。近隣の大学が廃学のときを迎へつつある今、その大学のお家の事情もあるようですが、廃学に至る一番の原因は「大学は学生が中心であること」と「学生の教育を充実させること」に對しての大学の情熱が薄かったことにあると言われています。大学の活動の源は、学生が納める授業料で賄われていることを認識して、大学の使命である「学生の教育」を充実させることに努めることが大切です。近隣の大学が陥っている事態、決して対岸の火事ではないのです。



総括参与の就任挨拶



交通機械工学科 教授 渡邊 孝司

謹賀新年 平成18年6月1日付けで参与（総括担当）に任命されました。本学の発展のため微力ながら尽くしたいと思っています。どうぞよろしく願います。

参与は学長を補佐する相談役で総括と学生担当の2名で構成しています。総括担当の業務として、学外は久留米市の外殻団体各種委員と本学法人として法人広報専門委員会、高校、専門学校および大学相互の連携のあり方検討委員会の両委員長があります。法人内の自動車学校、高等学校、専門学校と大学相互間の連携する学生募集、広報の促進および将来の相互連携のあり方を検討しています。学内では学長連絡会、学科長会のメンバーお

よび公開講座委員長、自己評価委員長などを担当しています。

さて、本学は創立40周年を迎えて、平成19年度から次に示す大学の改組に取組んでおります。各学科には従来よりも充実した新専攻制を設けて、将来の進路を見据えた実践的教育を目指しています。

また、従来の5学科に加えて「教育創造工学科」が新設され、この新学科は工学の基礎を理解し、実験に強く、想像性豊かで理数科系に強い中学、高校の教員養成を目的とし、卒業時に理科、数学、情報の内2つの教員の免許取得が可能です。さらに大学院工学研究科には、1級自動車整備士養成も兼ねた「自動車システム工学専攻」を新設します。このような学科や大学院の専攻の新設に伴うものづくりの必要性に対応して、「創造工房」を学内共有施設として設置し、学内のものづくりと工作実習教育を促進することになります。

以上のように本学は、平成19年度から工学部6学科、別科および大学院工学研究科3専攻となり、飛躍的な発展が期待されています。

文部科学省・科学研究費補助金交付者報告

情報ネットワーク工学科

講師 小田 まり子

平成12年度13年度の科学研究費奨励研究Aにより、英語発音練習システム「Lip Reading」を開発しました。これは、学習者の口唇の動きを画面上に表示し、モデル話者の口唇動作と比較しながら発音の練習が行える見真似による発音練習システムです。

「Lip Reading」の改良を目的とし、平成17年度からは3年間の計画で、「音声」と口唇動作画像を併用した英語発音練習システムにおける発音学習時の眼球運動の測定（基盤研究C）に取り組んでいます。現在、アイカメラシステムを用いてネーティブスピーカの発音認識時における視線の動きを測定しています。

ネーティブスピーカに正しく伝わりやすい発音を効率よく身につけるためには、口唇動作のどの部分に注目すべきなのかを分析しています。

環境共生工学科

教授 丸山 定巳

平成17年度から4年間の計画で「メチル水銀汚染による生活障害とその回復・支援策に関する総合的研究（基盤研究A）」に取り組んでいます。今年、「水俣病50年」ということで、マスキミをはじめ行政・被害者などにさまざまな動きがみられますが、問題の実相は未解明の部分が少ないと残されています。

面・日常生活・家族・地域生活などの分野はほとんど断片的にしか明らかにされていません。失われた神経細胞は再生できませんが、生活面での救済にはこうした分野を明らかにする必要があります。

昨年度は、新たな認定申請者を、今年度は八代海南部全域で21000人を対象に調査を実施、結果の解析を進めています。

環境共生工学科

助教 山内 ひさ子

久留米工業大学では1980年代末からコンピュータ支援の英語教育を実践し、1993年以降はESP（特別目的のための英語教育）にも取り組んできました。私たちの科研究の課題は「ESP教授法に基づく工学系学生用CALEL教材開発」と効果的教授法の研究（基盤研究C）で、本学の英語教育の特長をさらに発展させるための研究です。

この研究では教材開発のためにカナダとアメリカの複数の企業に出かけ、従業員インタビュービデオ取材を行い、それをもとにCALEL教材を作成しています。また、CALEL教材とテキスト教材を効果的に組み合わせた授業法の検証中です。CALEL利用でもESP教育でも、本学は他大学に先駆けた英語教育を行なっており、すでに教育効果がより上がる授業法の研究へと進展させているところです。

授業ルポ

第3回海外フィールドワークについて

環境共生工学科 3年 森永 美紀

フィールドワークは環境共生工学科特有の授業科目で、環境問題への理解を深めることを目的とした体験学習で、これまで県内・外の企業や団体活動などを視察してきました。今回は、その仕上げとして、フィールドワークIVで「世界の環境」というテーマの下に平成18年10月1日（日）から8日（日）までの日程で環境首都であるドイツのフライブルク市とカールスルーエ市を訪問し、環境関連施設を視察してきました。参加者は学生12名、教員3名の合計15名です。

フライブルク市は「デーネート」責任者の前田成子氏の話や篠崎氏の現地案内をうけドイツの人々の環境に対する意識の高さや、生活、さらに人と自然と交通の共生などを肌で感じることができました。私は、女子駅伝部に所属しており、空いている時間を走って、フライブルクの街中を歩くことができました。日本と違った建造物や石畳であたり色鮮やかな建物とともヨーロッパらしく感動したと共に、それを残しつつ、交通網の



シャウインスラント山頂にて

環境関連施設の見学日程

☆フライブルク市

- ①レクチャー「フライブルク市環境政策について」前田成子氏
- ②黒い森
- ③エコホテル ヴィクトリア（シュベート氏）
- ④Vauban団地（デレスケ氏による案内と説明）
- ⑤プラスソーラーエネルギー団地
- ⑥ヘリオトロープ
- ⑦エコステーション（環境教育）
- ⑧家庭訪問（ラム家）
- ⑨サッカー場（ソーラーエネルギー）
- ⑩リサイクリングホフ
- ⑪パーク&ライド（交通システム）

☆カールスルーエ市

- ⑫レクチャー「カールスルーエ市の交通システム」松田雅央氏
- ⑬カールスルーエモデル（交通システム）
- ⑭風力発電（ゴミ埋立地）



地元の小学生と交流（エコステーション）

発展、自然保護ができていて素晴らしいなと思っていました。

日本でも同様の環境対策があるがフライブルク市民の家を訪れ、話を聞いてみると、根本的な考え方や発想の違いを感じた気がしました。気候や風土にあった生活の知恵や、ゴミを出さないなどのちょっとした工夫が暮らしの中にあるため自分達にも環境にも優しいプラス効果が現われていました。

また、カールスルーエ市では市の交通問題に詳しい松田氏の案内で交通システムについて学びました。実際にトラムに乗り郊外に出たりしたがトラムが交通の中心になっていることで環境にとっても優しく、交通事故が少ないということが魅力的でした。このドイツ研修で日本との生活、文化の違いはあるものの、環境に対して学ぶべき点はたくさんあり、とても勉強になった研修でした。

工学部専攻紹介

No.1

交通機械工学科
自動車開発設計専攻

自動車産業は、日本経済のけん引役として発展を持続しており、自動車産業界の明日を担う人材の育成が望まれています。

本専攻では、総合的な自動車工学の知識と技術を併せ持った自動車開発・設計技術者の育成を目標としています。カリキュラムには、自動車のデザイン、設計技術を中心にIT、環境・エネルギー問題などの専門知識を幅広く学べる講義と豊富な実験・実習科目を用意しています。また、2級自動車整備士の資格取得も目指し、さらに、卒業後は本学大学院修士課程「自動車システム工学専攻」（次年度開設）に進学して、より高度で先進的な自動車に関する専門知識を学ぶことができます。



No.2

建築・設備工学科
インテリアデザイン専攻

建物には、安全性・機能性・衛生性・快適性といった基本的性能に加えて「美しさ」も求められます。高度なインテリアデザインを行うためには、

仕上げ材、照明器具、家具などに関する知識はもちろん、インテリア計画や室内パース技法などに精通している必要があります。そのために「インテリア計画」、「インテリアデザイン演習」、「室内照明と色彩」などの専攻科目を開講しています。

主な資格としては、インテリアプランナー、インテリアコーディネーター、照明コンサルタントなどがあり、将来の進路としてはインテリアの設計施工業、住宅産業、店舗デザイン・照明デザイン関連の企業などが考えられます。

トピックス

「卒業研究を学会発表」

機械システム工学科
教授 林 伸行

機械システム工学科4年黒瀬君らは、ナノ材料の巨大磁気抵抗効果に関する卒業研究を行い新たな結果を得たので、応用物理学会九州支部学術講演会でその成果を発表した(11月26日、大分大学)。

題目は「鉄及び鉄基金微粒子グラニュー層の磁気抵抗効果I」(発表:黒瀬正行、村上聖、松尾重明、林伸行)。電気抵抗は電子材料・機械材料の基本物性である。磁気抵抗とは、電気抵抗が外部磁界によって変化する現象で、例えばHDD再生ヘッドに応用されている。この基礎的メカニズムに関する発表を行った。本学会には九州地区内の各大学・研究所が参加し、183件の研究発表が行われた。

「学生のまちづくりへの参加」

建築・設備工学科
教授 大森 洋子

町並み保全に関心をもちまちづくり団体や研究者等が全国から集まる「全八女市福島の伝統的建造物群保存地区で10月上旬に開催された。このゼミの学生ボランティアスタッフとして、大森研究室の学生3名が参加し、受付や分科会の準備等、他大学の学生と交流しながら裏方として働いてくれた。

「てんぷら廃油で自動車が動く!!」

交通機械工学科
講師 藤井 修

ソーラーカーをやった藤井研究室はてんぷらの廃油から作ったバイオディーゼル燃料(BDF)でトラックを動かしています。BDFは二酸化炭素を増加させないし、菜の花を植えればエネルギー枯渇に対応できるのでBDFディーゼルハイブリッド車は燃料電池車に匹敵し、藤井研で製作をしています。この事が、築上町のバイオエタノールやほかほか亭チェーン(株)プレナスのBDFとともにRKB毎日テレビで放映されました。トヨタが11月の新聞で、ディーゼルハイブリッドとバイオに取り組みを発表したので、BDFへの流れは加速されると思われます。元F1ドライバーの片山右京と大阪産業大学は共同で今年の国際フリー選手権のパリダカにBDFで参加する予定です。



学生が活動の拠点としていた八女福島の伝統家屋

加し、地域の伝統的な生活習慣や祭及びコミュニティの維持運営手法などを学んでいる。学生がまちづくりの役に立つことは僅かだが、地域社会からは若者の参加が歓迎されている。が、なによりもまちづくりに関わることににより人間としての幅を広げ遅くなることに学生自身も私も、福島の皆さんに感謝している。



▲BDFトラックで九州一周の途中、宮崎のシーガイアに到着した様子

TA(教育補助)を経験して

機械システム工学科
西川 大揮

僕は1日大学生や高大連携授業、公開講座、オープンキャンパスなどほとんどのTAを経験したと思います。

TAの前日には、卒業生の掃除や机の並べ替え、虫ロボットの組み立てとプログラミングなどの準備をし、プログラムがうまくできていくかどうか事前に試したりしました。

学生を指導してみてもやる気を感じられない学生に教えるのはとても難しく思いました。

逆に興味を持って話を聞いてくれる学生は自分から質問をしてくるのでTAをやっているとやりがいがありました。学生に説明することで自分でも改めて意味を確認でき知識を深めることができました。

学生生活を応援します

学生食堂より

(株)魚国総本社 九州支社 店長 原 涼子

私が学生食堂に勤務して9年になります。学生の食事を見ながら、いつも感じるものがあります。「おばちゃん腹すいたけんご飯をいっぱい入れて!」といつも、言います。話を聞くと朝食を食べてない学生が多く、なぜ食べてないのか話をしてみると朝食が食べられないと言います。この現状は小・中・高校生も一緒です。朝食欠食や食事状況など、食に関する現状を考え、食育、食生活の改善をはかり、食の安全、健康栄養に関する知識の普及に努め、楽しい食堂作りとコミュニケーションの場にして頑張っていきます。



アルバイト先より

(株)新世紀発酵研究所



(株)新世紀発酵研究所は創業者九州大学名誉教授石崎文彬博士が長年研究開発を行ってきた微生物を用いる発酵技術を用いて、地球温暖化の原因物質CO2問題の解決を目指して世界中で広まりつつある自動車燃料「バイオエタノールの生産技術の研究」をしています。

昨年から久工大の学生さんに学業の妨げにならない時間にアルバイトとして来て頂いています。研究や、学会発表の展示の手伝い等、大変大きな戦力になって頂いています。

研究室は、久留米市百年公園の中にあり、大変環境のよい所です。大学生にインターンシップとしての受け入れと考えて対応しており、学生・企業双方にとって良い成果が期待できるものと確信しています。

下宿より

宮崎コーポ 宮崎 宣明

初めまして、宮崎コーポの宮崎です。早いもので、宮崎コーポからも100名以上の学生諸君が巣立っていききましたが、今年に年賀状や暑中見舞を出してくれたり、時折遠方から元気な顔を見せに来てくれたり折りしも先日は、結婚の報告に2人で来てくれた子もいました。

親元を離れ一人暮らしをするとなると、親御さんも心配でしょうが奇しくも私も同大学の卒業生という事もある、後輩達の事が他人事に思えず、心配事・困った事の相談にのってやったりしています。

長い人生の中での4年間、もしかしたらそれ以上の方もいるかもしれませんが、勉強に、人との出会いに、有意義な大学生活を送ってくれたらいいなと願っています。



オープンキャンパス

平成18年度のオープンキャンパスは、7月15日、8月5・6日、9月2日に実施されました。

8月のオープンキャンパスでは「こわして学ぼうものづくり」をテーマに自動車や伝統家具を分解することを通してものづくりの基本や製造工程を体験していただきました。

新たなテーマの構築や2日間連続の開催など、初めてづくしの今年度のオープンキャンパスでありましたが、一般来場者の増加という最良の結果を得ることができました。来年度も多くの方に参加いただき、本学に

する興味、認識を深めて進路選択に役立てていただけるような企画を用意します。是非ご期待ください。



女子駅伝部 大躍進!!

成績

- 1位 立命館アジア太平洋大学
- 2位 久留米工業大学
- 3位 熊本大学
- 4位 福岡大学
- 5位 名城大学



第6回九州学生女子駅伝対抗選手権大会が、12月2日(土)に長崎県島原市で行われました。九州の大学・短期大学より16チームが参加し、創部3年目の女子駅伝部が準優勝しました。昨年、一昨年ともに4位だったのが男女各1校に贈られる躍進賞もいただきました。なお、この大会の様子は、九州の各テレビ局で12月23日(土)に放映されました。

今後は、全日本大学女子駅伝大会出場を目指して、練習に頑張っています。

平成19年度 入試日程

【工学部】

区分	エントリー申込期間	出願日程及び面接日	合格発表日
AO入試	受付中～3/23(金)まで随時	エントリー受付後、相談により出願日程・面接日を設定	後日通知
後期推薦入試	1/9(火)～1/22(月)	1/24(水)	1/26(金)
前期一般入試	1/9(火)～1/31(水)	2/2(金)・3(土)	2/7(水)
中期一般入試	2/19(月)～3/13(火)	3/15(木)	3/17(土)
後期一般入試	3/19(月)～3/26(月)	3/27(火)	3/28(水)
センター利用前期入試	1/9(火)～2/9(金)		2/16(金)
センター利用後期入試	2/19(月)～3/13(火)		3/17(土)
工学部編入学入試	受付中～2/28(水)まで随時	願書受領後、面接日程を設定	後日通知

【別科】

区分	出願期間	試験日	合格発表日
4期推薦入試	1/9(火)～1/22(月)	1/24(水)	1/26(金)
前期一般入試	1/9(火)～1/31(水)	2/2(金)・3(土)	2/7(水)
中期一般入試	2/19(月)～3/13(火)	3/15(木)	3/17(土)
後期一般入試	3/19(月)～3/26(月)	3/27(火)	3/28(水)

【大学院】

区分	出願期間	試験日	合格発表日
大学院推薦・AO入試	受付中～3/23(金)まで随時	願書受領後、面接日程を設定	後日通知
大学院一般入試	2/1(木)～2/21(水)	2/28(水)	3/5(月)

平成18年度 保護者懇談会終了報告

平成18年度保護者懇談会を下記の地区にて、9月9日(土)・16(土)の2日間開催し、多数の参加者がありました。

いずれの会場においても成績関係、就職関係を主体とした懇談が熱心に行われ、保護者からは学生生活全般における質問や、大学への要望等の活発な情報交換もあり、大変有意義な保護者懇談会でした。



開催日	地区名	会場	参加者数
9月9日(土)	福岡	エルガーラホール	128名
	熊本	アークホテル熊本	30名
	佐賀	ホテル山水荘	35名
	鹿児島	ブルーウェーブイン鹿児島	23名
	沖縄	パシフィックホテル沖縄	21名
9月16日(土)	松山	ホテルサンルート松山	14名
	久留米	久留米工業大学	164名
	宮崎	宮崎観光ホテル	13名
	長崎	長崎ワシントンホテル	30名
	大分	コンパルホテル	19名
	山口	サンルート国際ホテル山口	20名
	広島	リーガロイヤルホテル広島	15名
合計			512名

共同講義 開講

久留米市内大学等単位互換協定に参加している大学と久留米市が連携し、開講している「共同講義」が今年も開講されました。受講生には、レポートの提出が義務付けられ、当大学では、卒業要件の単位として認定が受けられます。

この共同講義は、毎年開催され、本学で学べない講義が準備されていますので、数多くの学生諸君に受講していただきたいと思っています。

《平成18年度の開講内容》

主テーマ「久留米とまちづくり」10月14日(土)から12月16日(土)まで

土曜日開講(9時から12時10分) 1日2講義



医務室だより



新入生が入学してはや半年が経ち、肌寒さを感じる季節がやって来しました。

「いむしつ」では、健康診断などの保健行事の連絡や、急なケガや病気の応急処置、医療機関の紹介、からだ・心の相談や季節ごとの流行対策及び健康相談に応じています。又、全学生対象に加入している学生教育研究災害傷

害保険の事務手続も行っています。

心配なことがあればいつでも医務室に御相談ください。気軽に相談しやすい、オープンな医務室にしていきたいと思っています。

分煙の推進

本学ではこれまでに喫煙場所の指定、喫煙者のマナーアップ等の指導を行ってきました。また、「受動喫煙(他人のタバコの煙を吸わされること)の防止」を盛りこんだ健康増進法を受け、受動喫煙に対する対策として、今年9月に、3号館1階の学生ラウンジにパーテーションで仕切った喫煙室を設け、完全分煙化を行いました。

今後も学生達にタバコの害を十分理解してもらい、喫煙者、非喫煙者がお互いに快適に過ごせる空間を作っていくように喫煙マナーの向上に努めていきたいものです。



平成18年度 奨学金

●学業優秀奨学生

	No.	学年	氏 名	出身校
機械システム工学科	1	2	谷川 慎	高千穂
	2	3	権藤 茂	鎮西敬愛
	3	4	西川 大揮	柳 井
	4	4	篠原雄一郎	大 島
交通機械工学科	1	2	扇 稔喜	東和大学附属東和
	2	2	宮崎 真吾	佐世保北
	3	2	玉置 僚	広
	4	3	重富 智明	佐世保北
	5	3	小川 泰明	香椎工業
	6	3	萩原 義貴	御 船
	7	4	山内 稔也	北松西
	8	4	古家 光浩	鹿本商工
	9	4	半田 直幸	下 松
建築・設備工学科	1	2	古谷 洸	小野田工業
	2	2	池辺 隼也	大分鶴崎
	3	3	石田 知玄	田 川
	4	3	中吉 淳哉	岩 川
	5	4	池田 学	佐賀工業
情報ネットワーク工学科	1	2	植野真美子	純心女子
	2	2	奥村 崇	九州産業大学付属九州
	3	3	石橋 拓也	浮羽工業
	4	3	原口 太輔	龍 谷
	5	4	馬込 寛明	上五島
	6	4	山城 俊樹	美来工科

	No.	学年	氏 名	出身校
環境共生工学科	1	2	四田 一道	今治西
	2	3	岡村 智世	山 田
	3	4	野口 年優	小 郡
別科	1	1	堂本 直史	門 司
	2	2	森田雄一郎	浮羽工業

●久留米工業大学育英奨学金

平成18年度の久留米工業大学育英奨学生14名(前・後期各7名)に対し、奨学金が支給されました。

●課外活動奨励金

水泳部(中嶋勝也)に対し、課外活動奨励金が支給されました。



学業優秀奨学金交付式

就職指導

学生との最初の接点となる業界説明会や企業説明会が11月からスタートし、選考解禁となる4月1日に向けて、すでに平成19年度の就職に向けての動きが始まりました。

本学でも、この早期化傾向に合わせ、就職課では8月、10月には適性検査を、同じく10月にはエントリーシート等の記述能力を自ら知るために自己表現テストを実施しています。また、ナビの登録や説明会を実施していますので、企業へのエントリーや検索が可能となっています。

これからは、2月に実施します「学内企業面談会」を前に、採用する側から見た就職に当たっての基本的な事項の講習や自己アピール、求人票の見方等や3回の「就職セミナー」を実施予定しています。

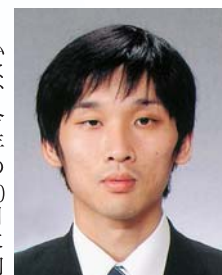
また、各学科では12月より就職ガイダンスが始まり、1月からは保護者の方を交えての「進路面談会」が開催されます。そして、2月には、いよいよ全国より78企業による「学内企業面談会」が開催されるという運びとなります。

3年生の皆さんへ、この時期にお願いしたいことは、自分を見詰め、早く方向性(少なくとも進みたい業種等)を見極めておいてほしいと思います。



私は、今年の10月に内定を頂きました。会社名は、大塚製薬グループアース環境サービス株式会社という、医療器具、食品工場などの衛生管理などを行う会社です。

6月頃から活動をして内定を頂くまで4ヶ月間と8社の試験を受けました。最初は、何とかなるという気持ちで試験を受けてましたが、1社2社と何回も落ちていくと、就職活動へのやる気もなくなるし、また環境専門職種も少なく何度もやめようと思いました。それでも環境専門の仕事がしたくて諦めず活動を行いました。その結果で8社目の会社(内定先)と出会い、何とかなるではなく、何としてでもと思い試験を受け、10月に内定を頂きました。就職活動での経験は次回へつながると私は思いますし、きつくつらいけど諦めずに試験へ挑戦すれば必ず良い結果へつながると思いました。

環境共生工学科
4年 岡本 和也

就職活動奮戦記

今回、インターンシップで久留米市役所の都市建設部建築課の仕事体験させていただきました。

建築課では、公共施設の設計・施工を監理する仕事をしていて、私はいろんな現場に同行させていただきました。監理の仕事は建築に関して詳しくなくてはいけませんが、現場では施工主・設計者・施工者など様々な人と関わっていくので、人とのコミュニケーションが大事だと感じました。

インターンシップを体験して勉強不足だとすごく感じ、これからの学業にやる気ができました。また、建築は人との関わりを大切にしていかなければいけない仕事だと学ぶことが出来ました。

建築・設備工学科
3年 久岡 真由美

平成18年度 学年暦

行 事	工 学 部	別 科	大 学 院
後期開講	9/25(月)	9/25(月)	9/25(月)
振替授業(月曜分)	10/10(火)	10/10(火)	10/10(火)
大学祭	10/21(土)、22(日)	10/21(土)、22(日)	10/21(土)、22(日)
大学祭後片付け	10/23(月)	10/23(月)	10/23(月)
講義終了	12/22(金)	12/22(金)	12/22(金)
冬季休業日	12/25(月)~1/7(日)	12/25(月)~1/7(日)	12/25(月)~1/7(日)

行 事	工 学 部	別 科	大 学 院
講義再開	1/9(火)	1/9(火)	1/9(火)
後期講義終了	1/15(月)	1/29(月)	1/29(月)(試験日含む)
補講	1/16(火)、17(水)	1/30(火)、1/31(水)	
学年末試験	1/19(金)~2/1(木)	2/1(木)~2/7(水)	
学位記・修了証書授与式	3/20(火)	3/20(火)	3/20(火)



レーザーSHOW

去る10月21日・22日に第31回愁華祭を無事終了することが出来ました。これも一重に皆様の御支援、御協力のおかげと、この紙面をお借りしまして、実行委員一同心より御礼申し上げます。

愁華祭を終えて

Message

第31回 愁華祭実行委員会
委員長 藤本 和也

今年のテーマは「愁華だよ！全員集合」という事で、幅広い世代の全ての人で賑わえた

来年度の愁華祭は、毎年恒例の沖縄県人会エイサーやビンゴ大会等に加えて、芸能人企画を2組依頼したり、約6千本のPETボトルで作品を作り会場を華やかにしたりと、とても盛り上がりました。更に、創立40周年を記念とした、愁華祭のフィナーレに、同窓会の協力の下でレーザーSHOWを行う事ができ、御来場された皆様に感動を伝える事が出来ました。

来年度の愁華祭は本年度以上の内容で展開できると思いますので、是非とも、御期待下さい。また、今後とも久留米工業大学愁華祭に対して、御指導・御鞭撻下さいます様にお願

と思います。



と致します。

久留米工業大学旗争奪少年野球大会

愁華祭と同時開催された「第15回久留米工業大学旗争奪少年野球大会」が10月21日・22日・28日の3日間にわたり開催されました。今年度は24チームが参加、遠くは山口県小野田市から参加したチームもありました。

本学の深野学長代行より「最後まで元気を維持して若さを発散させてください」とあいさつがあり、続いて、柳川ボーイズ主将の金縄翔平君の力強い選手宣誓の後に、糸島イーグルスと那珂川シヤークスの対戦から本大会がはじまりました。

参加したチームの球児たちは、真剣にボールを追いかけて、チームメイトからの声援、保護者の方々からの熱い応援の聲がかけられるなど、連日熱戦と応援が繰り広げられました。

なお、主な大会結果は次のとおりです。

★優勝

八女スカイホーク

★準優勝

久留米ボーイズ

★第3位

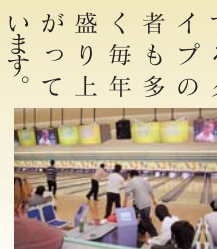
筑後リバーズ

寮祭

久留米工業大学学生寮では、寮祭を年2回行います。

前期寮祭は5月上旬に、ソフトボールとバレーボールに分かれてチームを組んで行います。この寮祭を通して友達との結びつきができ、友達作りが出来るいいきっかけになっています。

後期寮祭は11月に実施する毎年恒例のボウリング大会です。毎年賞があるので、寮生達は個人賞をねらってプレーしています。この時をねらって個人で練習をしてくる者もいれば、ただボウリングをすることをエンジョイするタ



沖縄県人会

建築・設備工学科
3年 比嘉 祐介

沖縄県人会は、沖縄出身者と沖縄が好きで人で構成され、現18人で活動しています。主な活動内容は、入学式・オープンキャンパス・愁華祭・卒業式、他にも水の祭典・六角堂でやっている沖縄に関するイベントや祭り・結婚式・地域の祭り等に参加しています。また、依頼があればエイサー指導もしています。これからも地域との交流を深めながら、沖縄の文化を広めていきたいと思っています。



クラブ紹介 ★★

山岳部

情報ネットワーク工学科
2年 中原 大貴

山岳部は日常、体力トレーニングと月例登山をメインに活動しているサークルです。その他、夏と冬に合宿を組んでいて最近では槍ヶ岳、大山、剣岳に登りました。合宿では普段は見ることができな



い風景を見ることが出来ます。泥だらけで重いザックをからい長い道程をいくのはきついです。山頂についていた時の感動はすばらしいものです。今は冬山にむけて皆でがんばっています。